

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 6 月 8 日(2023.6.8)

【公開番号】特開 2021-119831(P2021-119831A)

【公開日】令和 3 年 8 月 19 日(2021.8.19)

【年通号数】公開・登録公報 2021-038

【出願番号】特願 2020-13583(P2020-13583)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 5 月 31 日(2023.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤に形成された遊技領域に向けて遊技球を発射することによって遊技を行う遊技機であって、

第 1 領域を通過する遊技球を検知可能な第 1 検知手段と、

第 2 領域を通過する遊技球を検知可能な第 2 検知手段と、

を備え、

第 1 期間中は、遊技球が前記第 1 検知手段に検知された場合と遊技球が前記第 2 検知手段に検知された場合とで、互いに同一の演出を実行し、

第 2 期間中は、遊技球が前記第 1 検知手段に検知された場合と遊技球が前記第 2 検知手段に検知された場合とで、互いに異なる演出を実行する

30

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の遊技機は次の構成を採用した。すなわち、

40

遊技盤に形成された遊技領域に向けて遊技球を発射することによって遊技を行う遊技機であって、

第 1 領域を通過する遊技球を検知可能な第 1 検知手段と、

第 2 領域を通過する遊技球を検知可能な第 2 検知手段と、

を備え、

第 1 期間中は、遊技球が前記第 1 検知手段に検知された場合と遊技球が前記第 2 検知手段に検知された場合とで、互いに同一の演出を実行し、

第 2 期間中は、遊技球が前記第 1 検知手段に検知された場合と遊技球が前記第 2 検知手段に検知された場合とで、互いに異なる演出を実行する

ことを特徴とする。

50